

## 東海経済レポート（2012年11月）

～総選挙後の迅速な政策対応が期待される～

経済調査室（名古屋）

### 1. 足元の経済情勢

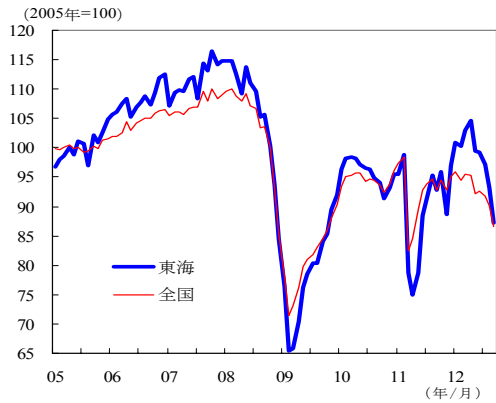
東海地域の景気は、減速している。

- ✓ 生産は、9月に前月比▲6.4%と5ヶ月連続のマイナスとなった。エコカー補助金の終了により、輸送機械セクターの減少幅が大きかった。
- ✓ 輸出は、9月に前年比▲9.3%と8ヶ月ぶりにマイナスに転じた。東日本大震災後の急回復を牽引してきた自動車と同部品が減少しており、輸出全体を押し下げ。
- ✓ 設備投資では、設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額が、9月は前年比▲20.4%と4ヶ月連続でマイナス。
- ✓ 雇用は、9月の愛知県の有効求人倍率は1.10倍と3ヶ月連続で低下した。他県も同様に低下。
- ✓ 個人消費では、9月の新車販売台数が前年比▲6.6%と13ヶ月ぶりにマイナスに転じた。スーパー・コンビニ等小売主要3業態は前年比+1.5%とやや減速。住宅着工はほぼ横ばい圏での推移。

### 2. 当面の注目点・リスク要因

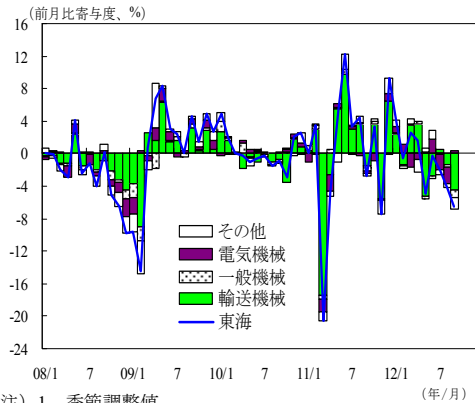
- ✓ 今回の景気後退局面に対応するにあたっては、総選挙後、政府と議会が協力し12年度補正予算や13年度予算等重要法案を迅速に審議・成立させ、萎縮している消費者と企業のマインドを改善させることが重要とみられる。また、国内向け自動車生産が計画通り12月から増産に転じるか注目される。
- ✓ そして、①日本製品に対する中国消費者の不買行動なども含めた日中政治・経済関係の緊張継続や、②米国の「財政の崖」や中国の景気減速長期化、欧州債務問題などをきっかけとする、世界経済の一層の減速、③急速な円高等のリスクには、引き続き警戒が必要である。

**生産①** 9月の鉱工業生産指数は前月比▲6.4%と5ヶ月連続で減少。



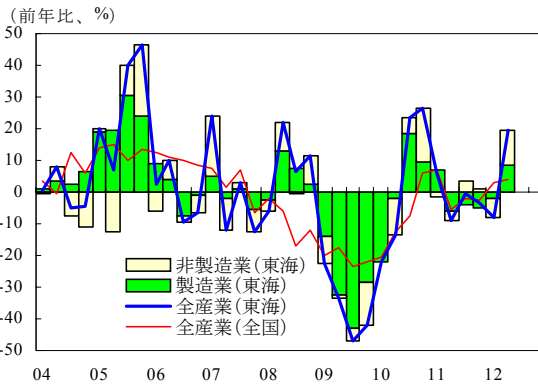
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**生産②** 業種別では、電気機械が増加し、一般機械と輸送機械は減少。



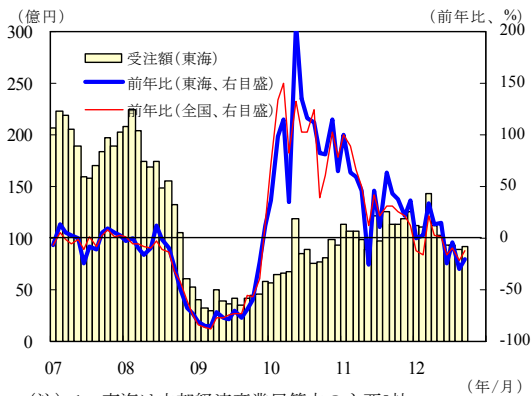
(注) 1. 季節調整値  
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
3. 電気機械は電子部品・デバイス等を含む旧分類  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**設備投資** 4-6月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比+19.6%とプラスに転じた。



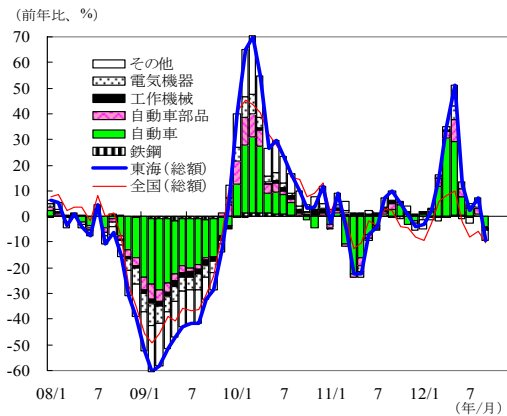
(注) 1. 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県  
2. 資本金10億円以上の企業を対象  
(資料) 東海財務局「四半期別法人企業統計調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**金属工作機械受注** 設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額は、9月は前年比▲20.4%と4ヶ月連続で減少。



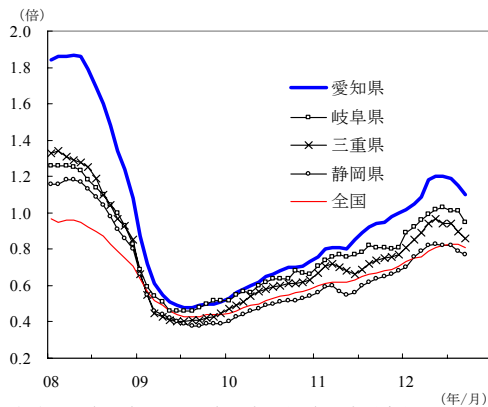
(注) 1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社  
2. 受注額は当室による季節調整値  
(資料) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**輸出** 9月の輸出額は、前年比▲9.3%と8ヵ月ぶりにマイナスに転じた。



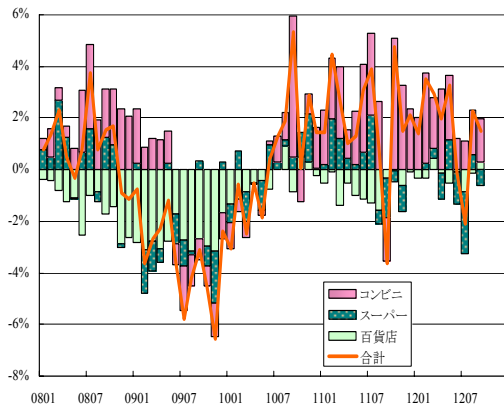
(資料) 財務省「貿易統計」、名古屋税関「管内貿易概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**雇用** 9月の愛知県の有効求人倍率は1.10倍と、3ヶ月連続で低下。他県も同様に低下。



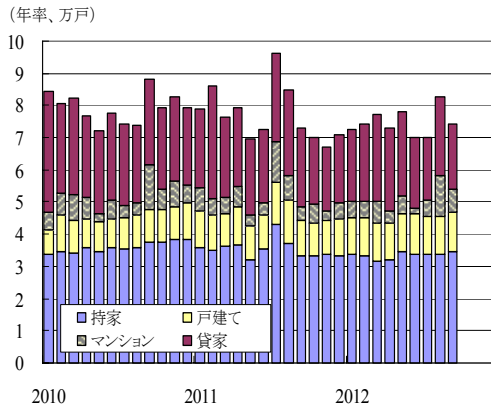
(注) 1. 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数  
2. 季節調整値  
(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**個人消費** 9月の小売主要3業態の販売は前年比+1.5%となった。業種別では、百貨店はプラスに、スーパーはマイナスへ転じた。



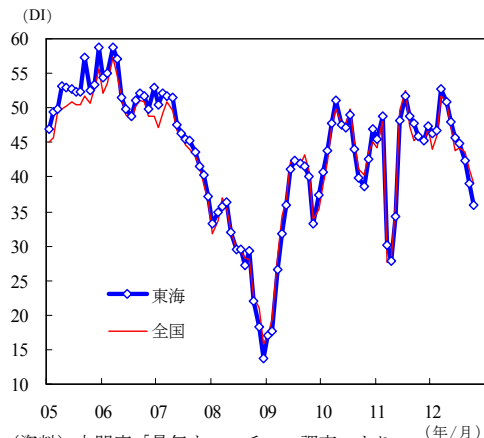
(注) 東海は愛知・岐阜・三重・富山・石川の5県  
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**住宅投資** 9月の住宅着工戸数は年率換算で約7.7万戸と小反落。分譲マンションの下落幅が大。



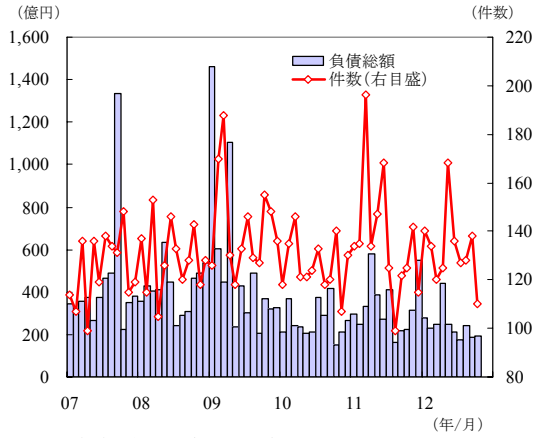
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 国土交通省「建築着工統計」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**景気ウォッチャー調査** 10月の景気現状判断DIは+35.9と7ヶ月連続で低下。



(資料) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**倒産件数** 10月の企業倒産件数は110件と減少（前年比で▲12.0%）。負債総額は同▲15.5%と減少。



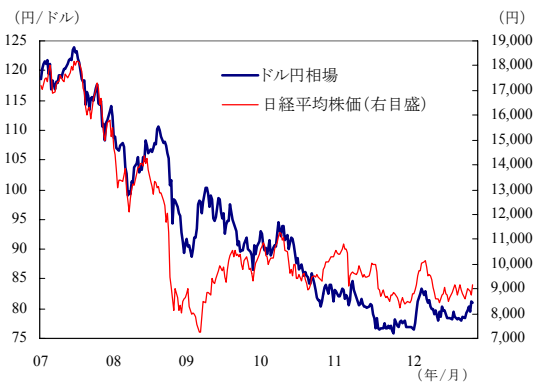
(注) 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県  
(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**原油価格** 世界経済の減速を背景に、80ドル台後半のせまいレンジで推移。



(注) 原油価格はWTI先物  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**円相場・株価** 円相場は、日銀への追加金融緩和圧力の高まりを背景に80円強にまで小反落。株価は、円安と政局打開の思惑から上昇。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H24.11.22 富田 潤 jiyun\_tomida@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。